



# 隈府小だより

学校教育目標 「自ら考え なまこと高め合う 隈府小」

隈府小学校  
学校だより No35  
文責 芹川博文  
1月 23 日(金)

## 「舞台裏」から伝わる思い ～給食週間 様々な角度から「食」を見直す～



「舞台裏」知ることは大切です。その方の思いを知れるからです。今週から給食週間に入りました。朝の児童集会で給食委員さんが、約1860人分の給食を作られている調理員さんの様子を伝え、「自分で決めた量は、きちんと食べるようになります」など、思いを伝えました。また、実際に共同調理場を見学した学年もありました。私も同行させて頂き、作られている調理員さん方の様子を初めて拝見しました。ガラス越しからでも、その緊張感が伝わってきました。子どもたちは様々な角度から給食や食そのものを見つめ直しています。

隈府小学校には、栄養教諭の森本先生がおられます。栄養バランスやカロリー計算された献立作り、業者や生産者の方への発注や打ち合わせ、毎日の給食づくりの監督・管理、そして子どもたちへの食育指導など、実に多岐にわたる業務を時間勝負で行っておられます。

「舞台裏」の姿や思いを知ることで、目の前の給食の味わいも一味変わることでしょう。

毎日、給食時間に「どんな顔をして食べているのかな」「どんなことを話してくれるのかな」と楽しみに教室に行きます。給食づくりは、座る間もない時もあり大変ですが、子どもたちのおかげで頑張ることができます！

栄養教諭 森本 結衣

こんなに多人数の人が協力して給食を作っているのかが分かりました。これからも、おいしい給食を作ってください。いつも、とってもおいしい給食をつくってください、ありがとうございます。

3年児童の感想より

## 「絵の力」「歌の力」「手話の力」～子どもたちの姿から～

「絵の力」「歌の力」「手話の力」を感じた先週と今週でした。絵画では、1～6年生の巡回特選の絵が図書室前廊下に掲示されました。その絵の素晴らしいこと。さらに、各学級設定された鑑賞の時間、子どもたちの真剣な眼差しと廊下に漂う空気感に「絵の力」を感じました。素敵な絵を描く隈府小の子どもたち。大人になっても「好き」でいてほしいと願います。

学習発表会で披露するはずだった全校合唱「ビリーブ」が、児童集会でついに実現しました。児童集会は、最初から最後まで全て児童だけで進行します。今回の歌も、ピアノ伴奏、前に立っての放送委員さんの話など、全て児童で行いました。

「全校で校歌以外の歌を歌うのは、今年度初めてかも」と、思いながら私も口ずさんだ「ビリーブ」の歌。歌詞の素晴らしさを改めて味わいました。いい歌です。

その歌の時、初めて気づき感動したことがもう一つ。「手話の力」です。手話クラブの児童が、ステージ上で歌に合わせて手話を披露してくれました。その時、特に最後の「信じてる」の時の胸にあてた握りこぶしの力強さ。その動きと力の入れ方が「信じてる」という意志としてしっかり伝わってきました。

「絵」「歌」「手話」の力。子どもたちだからこそ、より強く伝わったのかもしれません。

